

久留米市環境基本計画行動計画の進捗状況について(令和5年度)

1 計画の概要

久留米市は、めざす環境像である『自然と人間とが共生し、持続的な発展が可能な都市』の実現に向けて、第三次久留米市環境基本計画(以下、「基本計画」という)を策定しています。この基本計画では、めざす環境像の実現に向けたまちの姿を、『市民や事業者などすべての主体が高い環境意識を持ち、自ら取り組み、連帯して行動するまち(環境先進都市)』とし、その状況を把握するために、まちの姿指標を設定するとともに、基本目標・共通の視点を設定し、さらに、分野横断的に取り組む重点テーマを選定して、それぞれに成果指標を設定しています。

また、これら基本計画の実現に向けて施策を推進するため、久留米市環境基本計画行動計画(以下、「行動計画」という)を策定し、各施策体系別に事業を掲げてマネジメントサイクルに基づく進行管理を行うこととしています。

ここに、令和5年度の事業実績等を踏まえた進捗状況を報告します。

2 行動計画の事業進捗について

(1) 評価基準と事業の進捗状況

進捗度	A	B	C
	目標を達成できる	目標を概ね達成できる	目標達成に努力を要する
指標数	31	19	24

(2) 基本目標毎の取組状況

【基本目標1 脱炭素社会の構築】

ア) 成果指標の進捗状況

成果指標	基準値	実績	目標	進捗度
久留米市の温室効果ガス排出量の削減	2,547t-CO ₂ (2013(H25)年度)	1,713t-CO ₂ (2021(R3)年度)	1,273t-CO ₂ (2030(R12)年度)	A
再生可能エネルギーの導入量	107,894kW (2019(R1)年度)	125,824kW (2023(R5)年度)	219,000kW (2030(R12)年度)	C

※令和6年3月に「久留米市地球温暖化対策実行計画」を改定し、目標を修正しました。

イ) 事業の進捗状況

進捗度	A	B	C
	目標を達成できる	目標を概ね達成できる	目標達成に努力を要する
指標数	7	7	9

ウ) 取組状況

- 再生可能エネルギーの導入促進に向け、太陽光発電システムを導入することのメリット等の情報提供や、建築物のZEH、ZEB化の支援を行いました。
- 省エネルギーの普及に向けて、環境負荷低減に寄与する新たな産業を生み出すため、新製品・新技術の研究開発支援や交流会を開催し、環境・エネルギー関連企業に対する支援を行いました。
- 環境負荷が小さい都市への転換に向けて、自転車利用を促進するため、市中心部の自転車ネットワーク路線を中心に、自転車通行空間整備を進めました。

- ・ 建築物の脱炭素化を促進することを目的に、ZEH や住宅エコリフォームの工事費の一部補助を行い、住宅性能の向上と省エネ化を進めました。
- ・ 猛暑による健康被害を予防するため、健康教育や健康相談を実施して熱中症の正しい予防に向けた周知・啓発を行いました。

【基本目標 2 循環型社会の構築】

ア) 成果指標の進捗状況

成果指標	基準値 (2019(R1)年度)	実績 (2023(R5)年度)	目標 (2025(R7)年度)	進捗度
市民一人一日あたりのごみ排出量	919g	884g	888g	A

イ) 事業の進捗状況

進捗度	A	B	C
	目標を達成できる	目標を概ね達成できる	目標達成に努力を要する
指標数	8	4	6

ウ) 取組状況

- ・ 2R+R の推進に向け、市民一人あたりのごみ排出量の削減につながるよう、地域・学校等を対象に3R 学習会や施設見学等を実施しました。
- ・ まだ使える家具等のリユースを進めるため、不用品を無償で回収し、点検・整備したものを販売するリサイクル宝の市事業を実施しました。
- ・ ごみの適正処理に向けて上津クリーンセンター及び宮ノ陣クリーンセンターにおいて、ごみ焼却エネルギーの有効活用及び焼却灰のセメント化事業を進めました。
- ・ 安定的なごみ処理施設の運営・整備に向けて、環境への負荷低減に配慮したごみ処理施設を運営するとともに、老朽化が懸念される上津クリーンセンターについて令和10年度中の新施設稼働開始を目標に、計画どおりに事業を進めました。

【基本目標 3 自然共生社会の構築】

ア) 成果指標の進捗状況

成果指標	基準値 (2020(R2)年度)	実績 (2023(R5)年度)	目標 (2025(R7)年度)	進捗度
生物多様性の認知度	26.9%	27.9% (2022(R4)年度)	60%	C

イ) 事業の達成事業

進捗度	A	B	C
	目標を達成できる	目標を概ね達成できる	目標達成に努力を要する
指標数	3	2	3

ウ) 取組状況

- ・ 生物多様性への理解促進を図るため、自然観察会を行うとともに、啓発動画を制作し、配信しました。また、事業者との協働による観察会を実施し、積極的に生物多様性に取り組むまちづ

くりを進めました。

- ・ 絶滅のおそれのある野生動植物の生息地や生育域外での飼育と系統保存を行うとともに、外来生物や有害鳥獣の適正な防除を行い、希少生物の保全に努めました。
- ・ 自然環境の持続可能な利用に向けて、森林の適切な管理に努めるとともに、自然観察会等を実施するなど自然環境保全活動を進めました。

【基本目標 4 快適な生活環境の保全】

ア) 成果指標の進捗状況

成果指標	基準値 (2018 (H30) 年度)	実績 (2023 (R5) 年度)	目標 (2025 (R7) 年度)	進捗度
周辺環境の満足度	53.9%	69.8% (2022 (R4) 年度)	60%	A

イ) 事業の進捗状況

進捗度	A	B	C
	目標を達成できる	目標を概ね達成できる	目標達成に努力を要する
指標数	6	5	1

ウ) 取組状況

- ・ 健康で安全な生活環境の保全に向けて、大気汚染防止法や久留米市環境基本条例の規定の基づき、公害関係調査を実施し、ホームページ等で公表しました。
- ・ みどり豊かで美しい都市環境の形成に向けて、事業者との協働によりスポーツ GOMI 拾い大会を開催し、道路等の清掃活動を通じて、街の美化及び環境美化に対する意識向上を図りました。
- ・ 道路、公園、河川などで定期的に美化活動を行う、くるめクリーンパートナー制度の新規登録者数を増やすため、制度の周知に努めました。
- ・ 都市の緑の保全と緑化の推進を図るため、都市公園の整備を行い、整備面積は目標を達成しました。また、都市公園や周辺部の緑化整備を進めました。

【協働による持続可能な地域社会づくり】

ア) 成果指標の進捗状況

成果指標	基準値 (2019 (R1) 年度)	実績 (2023 (R5) 年度)	目標 (2025 (R7) 年度)	進捗度
くるめクリーンパートナー登録者数	21,899 人	21,648 人	23,000 人	C

イ) 事業の進捗状況

進捗度	A	B	C
	目標を達成できる	目標を概ね達成できる	目標達成に努力を要する
指標数	7	1	5

ウ) 取組状況

- ・ 環境学習及び環境教育の推進に向けて、市民・事業者が環境配慮活動に積極的に取り組むまちづくりを進めるため、環境学習会等を実施しました。また、動画配信による啓発を進め、動

画再生回数も目標を達成しました。

- ・ 環境啓発の推進・環境意識の共有に向けて、環境配慮行動の実践を進めるため、ホームページや SNS 等さまざまな媒体を活用して積極的に情報発信を行いました。
- ・ 協働による環境配慮活動の促進に向けて、市民・事業者との連携・協働により学習会や体験講座等の環境啓発事業を実施し、啓発事業実施回数は目標を上回りました。また、人材の発掘及び養成を目的に「環境交流プラザサポーター」や「くるめエコめいと」の活動機会の拡充に努め、いずれの活動者数も目標を達成しました。

(3) 事業一覧

別紙のとおり

3 重点テーマの取組状況について

(1) 脱プラスチックへのチャレンジ・プラスチックフリー&クリーン運動【重点テーマ 1】

ア) 基本的な方針

「海洋プラスチックごみによる新たな汚染を 2050 年までにゼロ」に向けて、市民団体や事業者など、さまざまな主体との連携・協働によるプラスチック削減に向けた運動を展開し、市民・事業者の環境意識の向上に取り組む。

イ) 成果指標の進捗状況

成果指標	基準値 (2020 (R2) 年度)	実績 (2023 (R5) 年度)	目標 (2025 (R7) 年度)	進捗度
使い捨てプラスチック製品の使用削減に積極的に取り組む市民の割合	13.6%	20.4% (2022 (R4) 年度)	35%	C

ウ) 取組状況

プラスチックごみの削減に向けて、リデュース(発生抑制)を進めるため、マイボトル推奨店の紹介や地域・学校等での環境学習会の実施、広報紙等での普及啓発に努めました。また、動画を制作、配信するとともに、小学校や学童保育所における3R 学習会で積極的に活用しました。また、くるめクリーンパートナー事業やスポーツ GOMI 拾い大会、海洋プラスチックごみ削減啓発事業等を実施し、プラスチックごみの流出防止に向けた市民の意識向上を図りました。

(2) 久留米版エネルギー循環モデルへのトライ【重点テーマ 2】

ア) 基本的な方針

「2050 年に市域から排出される二酸化炭素排出実質ゼロ(ゼロカーボンシティ)」に向けて、市民・事業者と協働で地域の再生可能エネルギーの循環に取り組む。

イ) 成果指標の進捗状況

成果指標	基準値 (2019 (R1) 年度)	実績 (2023 (R5) 年度)	目標 (2025 (R7) 年度)	進捗度
ZEB 化施設数(市有施設)	1 棟 (2020 (R2) 年度)	3 棟	8 棟	C
ZEB 化施設数(民間建築物)	1 棟	3 棟	6 棟	C

ウ) 取組状況

市有施設の ZEB 化を計画的に進めるため、設計及び改修を開始しました。また、ZEB 改修を行った市内民間事業所が竣工しました。さらに、住宅の脱炭素化を図るため、ZEH 導入者に対して、費用の一部を助成しました。また、ごみ発電電力の市内供給検討事業を開始しました。

(3) 学び・協働・交流のプラットフォームづくり【重点テーマ 3】

ア) 基本的な方針

SNS 等を活用した情報発信や、市民や市民団体、事業者等が学びを通じて互いに交流ができるプラットフォームの構築に取り組む。

イ) 成果指標の進捗状況

成果指標	基準値 (2019(R1)年度)	実績 (2023(R5)年度)	目標 (2025(R7)年度)	進捗度
環境啓発ページへのアクセス数	77,784 回	130,464 回	160,000 回	B

ウ) 取組状況

ICT を活用したプラットフォームづくりについて検討するとともに、環境ポータルサイト「ecoco」やYouTube「久留米市エコチャンネル」など、ICT を活用した幅広い啓発に取り組みました。6月に開催した「WEB 環境フェア」では、市内高等学校及び高等専門学校の学生との協働により、啓発動画を制作・配信するとともに、WEB 上で市民団体や事業者の環境配慮行動を紹介するなど、内容の充実に努めながら、啓発ページの周知を図りました。

4 まちの姿指標について

令和5年度実績では、基準値よりも増えているものの、目標達成には至っていません。今後は、行動計画の事業をより一層確実に進め、市民・事業者の環境配慮の取組を促進し、めざす環境像の実現に向けて取り組んでいきます。

成果指標	基準値 (2019(R1)年度)	実績 (2023(R5)年度)	目標 (2025(R7)年度)	進捗度
日常で環境に配慮した取り組みをしている市民の割合	80.3%	82.2%	85%	B

別紙

項番	基本目標・共通の視点	事業名	指標	基準値 2019年度	R5実績 2023年度	目標値 2025年度	進捗度
1	脱炭素社会の構築	太陽光等普及啓発事業	再生可能エネルギー(太陽光)の導入量	104,119kW	121,679kW	137,119kW	C
2	脱炭素社会の構築	消化ガスによる発電事業	有効利用率	94.7%	92.4%	97.5%	B
3	脱炭素社会の構築	自立分散型エネルギーシステム普及啓発事業	エネファーム住宅普及率	0.20%	0.30%	0.33%	A
4	脱炭素社会の構築	環境共生都市づくり協定事業	協定締結事業所数	147事業所	148事業所	187事業所	C
5	脱炭素社会の構築	エコアクション21認証取得支援事業	補助件数(累計)	68件	69件	78件	C
6	脱炭素社会の構築	防犯灯LED化推進事業	防犯灯総基数に対するLEDの割合	78.5%	97.6%	100%	B
7	脱炭素社会の構築	緑のカーテン推進事業	公共施設への設置数	98箇所	58箇所	110箇所	C
8	脱炭素社会の構築	環境マネジメントシステム推進事業	率先行動実施率	86%	83%	100%	C
9	脱炭素社会の構築	新製品・新技術創出研究開発支援事業	支援を行った環境・エネルギー関連企業数(累計)	-	5社	5社	A
10	脱炭素社会の構築	情報発信効果促進事業	エコファミリー登録者数	300人 (2020年度)	796人	1,800人	B
11	脱炭素社会の構築	エコカー導入推進事業	エコカーの比率	72%	71%	78%	C
12	脱炭素社会の構築	自転車利用促進事業	自転車通行空間の整備延長(累計)	10.8km	24.7km	24.0km	A
13	脱炭素社会の構築	エコドライブ推進事業	宣言事業所数(累計)	73事業所	77事業所	100事業所	C
14	脱炭素社会の構築	公共交通利用促進事業	地域公共交通の乗降客数	4,167万人 (2017年度)	3,596万人	4,167万人	B
15	脱炭素社会の構築	ZEH化推進事業	ZEHの補助件数(累計)	-	42件	100件	B
16	脱炭素社会の構築	市有施設のZEB化推進事業	既存建築物のZEB化施設数(累計)	1棟 (2020年度)	3棟	8棟	C
17	脱炭素社会の構築	民間建築物ZEB化サポート事業	民間建築物のZEB化施設数(累計)	1棟	3棟	6棟	C
18	脱炭素社会の構築	住宅エコリフォーム支援事業	補助件数(累計)	388件	676件	688件	A
19	脱炭素社会の構築	住宅・建築物の省エネ促進事業	認定件数(累計)	106件 (2018年度)	273件	291件	B
20	脱炭素社会の構築	市営住宅省エネ改修事業	改修割合	52.4%	71%	76.0%	B
21	脱炭素社会の構築	ごみ発電電力の市内供給検討事業	CO ₂ 排出削減量	算定方法検討中	公共施設への自己託送実施	▲約2,800t-CO ₂ /年	A
22	脱炭素社会の構築	田主丸財産区間伐推進事業	J-VER売上数量	185t	293t	200t	A
23	脱炭素社会の構築	熱中症予防対策事業	健康教育・健康相談の実施回数・参加者数	27回・783人	66回1095人	35回・860人	A
24	循環型社会の構築	3R推進事業	市民一人一日あたりのごみ排出量	919g	884g	888g	A

項番	基本目標・共通の視点	事業名	指標	基準値 2019年度	R5実績 2023年度	目標値 2025年度	進捗度
25	循環型社会の構築	マイボトル推奨店登録事業	登録店舗数	-	21店舗	30店舗	B
26	循環型社会の構築	給水スポット整備事業	設置箇所数(累計)	-	3箇所	9箇所	C
27	循環型社会の構築	「てまえどり」キャンペーン事業	実施店舗数	92店舗	82店舗	140店舗	C
28	循環型社会の構築	福岡県食べ物余らせん隊登録事業	登録店舗数	160店舗	167店舗	170店舗	B
29	循環型社会の構築	リサイクル宝の市事業	来場者数	6,285人	9,408人	7,500人	A
30	循環型社会の構築	生ごみリサイクルアドバイザー派遣事業	生ごみリサイクルに取り組む 保育所・学校等の数(累計)	117施設	127施設	135施設	C
31	循環型社会の構築	家庭ごみ(生ごみ等)の自家 処理推進事業	補助台数	389台	350台	400台	C
32	循環型社会の構築	資源回収奨励事業	活動団体数	320団体	275団体	330団体	C
33	循環型社会の構築	古紙持込協力店事業	協力店舗数	10店舗	10店舗	10店舗	A
34	循環型社会の構築	廃食用油リサイクル事業	回収量	14,440L	10,740L	14,500L	C
35	循環型社会の構築	ごみ焼却熱による発電事業	自家発電量	上津CC 9,091,290kWh 宮ノ陣CC 17,286,858kWh	上津CC 8,387,260kWh 宮ノ陣CC 19,089,250kWh	上津CC 9,091,290kWh 宮ノ陣CC 17,286,858kWh	A
36	循環型社会の構築	焼却灰(主灰)セメント化事業	セメント化した焼却灰の量	全量リサイクル	全量リサイクル 上津CC: 4,098.82t 宮ノ陣CC: 4,296.99t	全量リサイクル	A
37	循環型社会の構築	不法投棄の防止対策事業	発生件数	154件	143件	件数抑止	B
38	循環型社会の構築	産業廃棄物適正処理推進事業	行政指導件数	31件	10件	件数抑止	B
39	循環型社会の構築	宮ノ陣・上津クリーンセンター 運営事業	公害防止協定値	協定値を遵守	協定値を遵守	協定値を遵守	A
40	循環型社会の構築	旧高良内埋立地の有効活用 検討事業	方針整理	-	災害廃棄物仮置 場として活用す ることを決定	活用方針整理	A
41	循環型社会の構築	上津クリーンセンター更新事 業	事業の進捗	整備基本計画 の策定に着手	事業者との契 約締結	次期施設着工	A
42	自然共生社会の構築	生物多様性保全推進事業	自然や生きものを守るための 活動や行動をしている人の割合	66.8%	-	75.0%	A
43	自然共生社会の構築	生物多様性の協働啓発事業	啓発を協働で行う 企業数	2社	2社	6社	B
44-1	自然共生社会の構築	希少種保全・外来生物等防 除事業	生息・生育外飼育の種数	0種	5種	5種	A
44-2	自然共生社会の構築	希少種保全・外来生物等防 除事業	有害鳥獣による農産物被害 額	36,948千円	44,067千円	33,080千円	C
45	自然共生社会の構築	希少生物等市民参加型モニ タリング事業	モニタリング調査参加者数	-	-	60人	C
46	自然共生社会の構築	森林総合整備事業	森林整備累積実績面積	20.42ha	117.53ha	202.79ha	C
47	自然共生社会の構築	農業・農村の多面的機能発 揮等事業	多面的機能維持活動農地面 積	4,961ha	5,210ha	5,463ha	B
48	自然共生社会の構築	生物多様性の学習・体験事 業	自然観察会等への参加者数	308人	759人	400人	A

項番	基本目標・共通の視点	事業名	指標	基準値 2019年度	R5実績 2023年度	目標値 2025年度	進捗度
49	快適な生活環境の保全	生活排水処理施設整備事業	汚水処理人口普及率	95.8%	97%	98.0%	A
50	快適な生活環境の保全	公害防止対策事業	法規制基準値	基準値を遵守	遵守していない	基準値を遵守	B
51	快適な生活環境の保全	不法焼却の防止対策事業	不法焼却対応件数	150件	121件	件数抑止	B
52	快適な生活環境の保全	PCB廃棄物適正処理対策事業	期限内処理	-	-	2026年度未完了	B
53	快適な生活環境の保全	環境調査実施事業	調査実施・結果公表	実施済	実施済	継続実施	A
54	快適な生活環境の保全	くるめクリーンパートナー事業	登録者数	21,899人	21,648人	23,000人	C
55	快適な生活環境の保全	海洋プラスチックごみ削減啓発事業	啓発イベント参加者数	436人 (2018年度)	542人	600人	A
56	快適な生活環境の保全	「スポーツGOMI拾い大会」事業	参加者数(累計)	126人	592人	700人	A
57-1	快適な生活環境の保全	くるめ花街道サポーター等事業	くるめ花街道サポーター 延べ活動者数	891人	869人	1,000人	B
57-2	快適な生活環境の保全	くるめ花街道サポーター等事業	「市民とつくる花と緑の名所」 指定箇所数(累計)	80箇所	87箇所	95箇所	B
58	快適な生活環境の保全	都市公園整備等事業	都市公園の整備面積(累計)	229.90ha	240.19ha	239.05ha	A
59	快適な生活環境の保全	都市公園整備等事業	緑化整備箇所数(累計)	6箇所	10箇所	11箇所	A
60-1	協働による持続可能な地域 社会づくり	環境まなびのまちづくり事業	環境学びのまちづくり事業への 参加者数	10836人 (2020年度)	34,179人	15,000人	A
60-2	協働による持続可能な地域 社会づくり	環境まなびのまちづくり事業	啓発動画の再生回数(累計)	508回	95,254回	24,000回	A
61	協働による持続可能な地域 社会づくり	学校版環境ISO推進事業	市立学校の認定率	100%	100%	100%	A
62	協働による持続可能な地域 社会づくり	こどもエコスタート事業	実施済み保育所数	18施設	35施設	67施設	C
63	協働による持続可能な地域 社会づくり	情報発信手段多様化事業	活用媒体数	3媒体	7媒体	5媒体	A
64	協働による持続可能な地域 社会づくり	環境配慮行動指針啓発・定着 促進事業	行動指針の認知度	-	-	20%	C
65	協働による持続可能な地域 社会づくり	くるめエコ・パートナー事業	登録者数(累計)	3,993人	4,817人	5,250人	C
66	協働による持続可能な地域 社会づくり	WEB環境フェア事業	特設ページへのアクセス数	-	1,268回	10,000回	C
67	協働による持続可能な地域 社会づくり	市民・事業者との協働による 啓発事業	協働による啓発事業実施回 数	18回 (2020年度)	77回	57回	A
68-1	協働による持続可能な地域 社会づくり	環境交流プラザ環境啓発・人 材育成事業	啓発等実施回数	16回 (2020年度)	44回	53回	B
68-2	協働による持続可能な地域 社会づくり	環境交流プラザ環境啓発・人 材育成事業	サポーター延べ活動者数	88人 (2020年度)	226人	110人	A
69	協働による持続可能な地域 社会づくり	くるめエコめいと事業	延べ活動者数	20人	44人	40人	A
70	協働による持続可能な地域 社会づくり	ICTを活用したプラットフォーム づくり事業	環境ポータルサイトで紹介し ている市民活動団体等の数	-	5団体	20団体	C